

「年代記」の四十九院番号	年代	西暦	行基年齢	行基関連事項、49院	場所	現存	現在地名	「天平十三年記」の関連施設
	天智	7	668	1	河内の大鳥郡蜂田の里に誕生			
	天武	元	672	5			壬申の乱	
	天武	2	673	6	3月、川原寺で一切経写経。			
50	天武	9	680	13	蜂田寺 華林寺		和泉国大鳥郡蜂田郷	堺市八田寺町
	天武	11	682	15	出家			
	文武	2	698	31				n
	文武	4	700	33				薬師寺の建立ほぼ終り、素僧を往まわす。
	大宝	元	701	34				3月10日遣昭死す(72歳)
								8月3日、大宝律令なる
51	慶雲	元	704	37	生家を改め家原寺とする。		和泉国大鳥郡蜂田郷	堺市家原寺町一丁
1	慶雲	2	705	38	大修惠院 高麗		和泉国大鳥郡大村里大村山	堺市高倉台一丁
	慶雲	3	706	39	和泉国和泉郡に蜂田寺を建てる。			
52	慶雲	4	707	40	生駒の山房に移り住む。生馬仙房		大和国平群郡生馬	堺市有里町
53	和銅	元	708	41	和泉国大鳥郡に神鳳寺を建てる		和泉国大鳥郡野田村	堺市黒北町一丁
	和銅	3	710	43				大鳥布施屋(大高里)
	和銅	5	712	45				平城遷都
					諸国の役員、都の造部に繋り立てられる。葬亡や、葬那のとき預える者多く、行基の布施屋設置はこのころからか?			
2	霊龜	2	716	49	大和国平群郡に恵光寺を建立		和泉国大鳥郡深室村	不明
	養老	元	717	50				河内の大鳥・和泉・日根の3郡を和泉監にする
					4月23日、行基の民間伝説を僧尼令違反で禁任			
3	養老	2	718	51	大和国添下郡に権福院を起工		大和国添下郡登美村	奈良市大和田町遠分
4	養老	4	720	53	河内国河内郡に石凝院を起工		河内国河内郡日下村	東大阪市日下町
5	養老	5	721	54	寺史之丸より屋敷を寄進され菅原寺を起工(善光寺)		平常右京三条三坊	奈良市菅原町
	養老	7	723	56				三世一身の法見布
6、7	神龜	元	724	57	大鳥郡に清浄土院 範清寺 と尼院を建立		和泉国大鳥郡藤田里 和泉国大鳥郡日下部郷高石村	堺市湊町高石市
8	神龜	2	725	58	河内国交野郡に久修園院を起工		河内国交野郡一条内	枚方市楠葉中之芝二丁
9	神龜	3	726	59	行基、大鳥郡に権福池院を建立する。		和泉国大鳥郡和泉郷	堺市権福池(和泉郷)
10、11	神龜	4	727	60	行基、大鳥郡に大野寺を建立する		和泉国大鳥郡大野村	堺市土塔町
								野中布施屋(土師町、土室池、長土池(土師郷))
12-18	天平	2	730	63	摂津国西成郡に善源院・尼院、曳原郡に如意院・尼院、嶋下郡に高瀬橋院・尼院を起工する。		摂津国西成郡津守村	大阪市西成区～西淀川区 比売嶋川(津守里・白鷺嶋川(津守里))
19-26	天平	3	731	64	摂津国河辺郡に権福院・寛福院、河内国丹波郡に法山院・尼院、山城国紀伊郡に法山院、葛野郡に河原院・大井院、乙訓郡に山崎院、大和国添下郡に権福尼院を起工する。行基の法山池修造はこのころか?			
27、28	天平	5	733	66	行基、河内国茨田郡に教方院・農田尼院を起工する。		河内国茨田郡伊香村	枚方市伊加賀
29-33	天平	6	734	67	和泉国和泉郡に隆池院、大鳥郡に深井尼院、山城国安芸郡に吉田院、摂津国住吉郡に河内院・皇福院を建立する。			
34-36	天平	9	737	70	和泉国大鳥郡に善田池院、大和国添下郡に顕福院・尼院を起工する。		和泉国大鳥郡凡山田村 大和国添下郡矢田岡本村	堺市草部/大和郡山田矢田町
37-41	天平	10	738	71	大宝律令の注釈：行基大徳			
	天平	12	740	73	山城国相楽郡に泉橋院、隆福尼院、紀伊郡に布施院・尼院を建立する。			和泉の監を河内に合併。
	天平	13	741	74	聖武天皇、泉橋院に行幸し、行基に摂津の高奈野地を与え給皇孫とする			国分寺建立の動機発布。
	天平	14	742	75				平城京の金鐘寺を金光明寺とする。
	天平	15	743	76	弟子らをひきいて動進する。			慧田永世私財法発布。唐舎部造管発願の詔を発布。大仏を作るために寺地を開く。
	天平	16	744	77				道慈死す。甲賀寺 飯香崎 に大仏の体骨の柱立つ。
42-48	天平	17	745	78	行基大僧正となる。摂津国西成郡に大福院・尼院・難波度院・枚松院・作養部院を建立。			平城遷都。大仏鑄造を再開。
	天平	18	746	79				玄昉死す。金光明寺造物所の仏師・銅工・金箔工の1ヶ月の延べ人員500名。
	天平	19	747	80				近畿動進。大仏鑄造開始。
	天平	20	748	81				造東大寺司の機構整う。
	天平	21	749	82	菅原寺にてのみ、最終に四十九院を弟子光信に託して死す。弟子ら生駒山東院にて火葬する。弟子真成、行基の伝記を舎利瓶にきき生駒山東院に埋葬する(現在の竹林寺)。			上総新羅。大仏の鑄造終わり、鑄製の鑄造にかかる。
49	天平勝宝	2	750		大福院		和泉国大鳥郡上神郡大庭村	堺市大庭寺
	天平勝宝	4	751					大仏の銅座の鑄造をはじめ。大仏開眼する。
	天平勝宝	5	753					東塔鑄造始まる。
	天平勝宝	6	754					講堂なる。
	天平勝宝	7	755					聖武天皇崩す。
	天平宝字	3	759		大野寺土塔なる。			
	宝龜	4	773		行基建立の菩提・發美・生駒・石凝・高津の5院に田3町、山崎院に田2町を官より施入。			
弘仁		11	820		嚴澄が朝廷に提出した「顯戒論」に大乗寺の例として行基の四十九院をあげる。			
廣祿		元	1235		竹林寺の僧と信徒ら託宣により行基の墓を掘り、行基の舎利瓶出現する。僧寂滅、舎利瓶出現の状況を注進状に記し僧侶に報告する。			
弘長		3	1263		東大寺で行基の舎利供養行われる。			
應元		3	1305		凝然、行基の墓を調査し、「竹林寺略記」を撰わして行基舎利瓶出現の由来など記す。			

「年代記」の四十九院番号	年代	行基年齢	行基関連事項、49院	場所	現在地名	「天平十三年記」の関連施設	
1	2	6.3	善源院 川	摂津国西成郡津守村	大阪市西成区～西淀川区	比売嶋川(津守里) 白鷺嶋川(津守里)	
1	3		同 尼院	同所	同所		
1	4		船息院	摂津国曳原郡宇治郷	神戸市兵庫区	大輪田船息(宇治)	
1	5		同 尼院	同所	同所		
1	6		高瀬橋院	摂津国嶋下郡藤根村	大阪市東淀川区	高瀬大橋 高瀬堂、高瀬堤根 萩田郡高瀬堂)、直通	
1	7		同 尼院	同所	同所		
1	8		権福院	摂津国河辺郡権福村	滝名川町大津		
1	9	3	3	6.4	狭山院 河内国丹波郡狭山	南河内郡狭山町	狭山池(狭山里)
2	0		同 尼院	同所	同所		
2	1		提摩施院	摂津国河辺郡山本寺	伊丹市寺本五丁	提摩池、下池、院前池、中布施屋池、長江池(山本里) 提摩上池、下池溝(山本里) 提摩布後屋(院前里)	
2	2		法華院 権	山城国紀伊郡深草郷	京都市伏見区深草谷口町		
2	3		河原院	山城国葛野郡大井村	京都市		
2	4		大井院	山城国葛野郡大井村	京都市右京区天龍寺遠路町～西		
2	5		山崎院	山城国乙訓郡山崎郷	三島郡島本町	山崎橋(山崎郷)	
2	6		隆福尼院	大和田添下郡登美村	(3)に同じ		
2	9	6	6.7	7.3	隆池院 久米多	和泉国泉南郡下池田村	岸和田市池尻町 久米田池、岡池溝(丹貴郡里)
3	0		深井尼院 高瀬寺	和泉国大鳥郡深井村	堺市深井	高瀬江(深井郷)	
3	1		吉田院	山城国安芸郡	京都市左京区吉田神楽岡町		
3	2		沙田院	摂津国住吉	大阪市		
3	3		泉橋院	摂津国住吉郡藤津	大阪市住吉区長狭町		
3	7	1.2	7.3	7.4	養賢院 泉橋院	山城国相楽郡大庭村	相楽郡山崎町上狹 泉大橋(泉前、泉寺布施屋(院前里))
3	8		隆福尼院	同所	同所		
3	9		泉橋院	山城国紀伊郡石井村	京都市伏見区		
4	0		布施院	同所	同所		
4	1		同 尼院	同所	同所		
4	2	1.7	7.8	7.4	大福院 御津	摂津国西成郡御津村	大阪市南区御津寺町
4	3		同 尼院	同所	同所		
4	4		難波度院	摂津国西成郡津守村	1.2に同じ	度布施屋(津守里)	
4	5		枚松院	同所	同所		
4	6		作養部院	同所	同所		
4	7	不明	報恩院	河内国交野郡権福郷	大阪府枚方市権福		
4	8		長岡院	菅原寺西岡	奈良市疋田町		

参考文献 井上 薫 著「行基」
 ※「年譜」作者は47・48・49を数えず、51・52・53を四十九院に数えた。
 〇 百田博隆著「行基と律令国家(より)」